

研究タイトル：

都市空間の安全性評価について



氏名：	永家 忠司 / NAGAIE Tadashi	E-mail：	nagaie@hakodate-ct.ac.jp
-----	------------------------	---------	--------------------------

職名：	准教授	学位：	博士(工学)
-----	-----	-----	--------

所属学会・協会：	土木学会, 日本都市計画学会, 日本建築学会
----------	------------------------

キーワード：	GIS(地理情報システム), 都市形態, 空間解析, 安全・安心, 空間情報技術
--------	--

技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・GIS ・地理空間情報データベース構築 ・統計解析
-----------------	--

研究内容： 防犯環境設計理論に基づく都市空間の安全性に関する評価システムの検討

都市や地域は地理情報空間のもととなる様々な要素が複雑に重なりあって構成されており、安全・安心なまちづくりにおける課題についての検討や評価を GIS(地理情報システム)を用いて行っている。特に街頭犯罪からの安全性について街路や公園、空き地等のオープンスペース上に関し、防犯環境設計(CPTED:機会犯罪を誘発する物的環境, 都市空間構成要素の分析を通して犯罪の予防を図ろうとする試み)に基づく評価のためのシステムを構築するための検討を行っている。

CPTED には「監視性の強化」、「領域性の強化」、「接近の制御」、「対象物の強化」といったものが基軸となるが、「監視性の強化」、「領域性の強化」に共通する要素として「人通り」がある。そこで、都市空間における人通りが監視性と領域性に与える影響は大きく、この人通りをある程度推定することが可能であれば、地域としての防犯計画に資する効果は大きいと考え、この人通りを推定するためその都市空間が有するアクセシビリティを求める方法としてスペースシンタックス理論に着目し、街頭犯罪からの安全性に関連する指標について犯罪発生空間と犯罪不安喚起空間の両面から分析、検討を行っている。また、都市空間の死角となる場所についても定量的に評価を行った上で監視性と領域性と関連付け、都市空間と周辺環境が与える影響についても検討を行っている。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

ArcGIS (ESRI)	Quantum GIS Desktop (フリーソフト)
SPSS Statistics (IBM)	